

中国での国際会議に参加して

工学府機械知能工学専攻M2 宮地 徹



もつ相反転方式ポンプ水車ユニットを用いる瞬時電力安定化システムの構築を目指しています。

国際会議にて

私は国内での学会は経験したことがあります。英語での学会発表は今回が初めてでした。この学会では、発表経験を積める楽しみと、日本とは違った文化に触れることにとっても期待がありました。

2014年4月14日～16日に中国、上海で開催されたThe 6th Asia-Pacific Power and Energy Engineering Conference (APPEEC 2014)に参加し、研究発表を行いました。

研究内容

現在、地球温暖化防止に向けてクリーンエネルギー資源の有効利用が不可欠ですが、太陽光や風力などの自然エネルギー資源による電力には不安定性が付きまといまいます。このことを踏まえて、私達の研究では前後2段の羽根車と特殊な発電電動機を

発表は、ほぼ練習通りにできました。質問時には、選択肢を挙げてわかりやすく質問していただいたため、スムーズに質問に答えることができました。しかし、他の発表内容はスライドを見ると何を発表しているのか、何が問題なのかが大体わかりましたが、話のみで理解することはとても困難でした。リスニング力の大切さを痛感し、今後も英語の能力をより一層向上させていこうと決意させられました。



会議の様子

上海のP.M

上海で宿泊したホテルの近くにはガイドブックに載っている有名な料理店が多数ありました。ここでは上海料理だけでなく、広東料理や北京料理、小籠包などの点心料理など様々な料理を堪能しました。夜は上海市内を流れる黄浦江のナイトクルーズにエスカーションしました。黄浦江の両岸にはオールド上海を感じさせる外灘と近未来を感じさせる浦東という、上海の二大夜景スポッ



上海タワー（浦東）

トがあり、それぞれに違った美しさを堪能しながら古くて新しい中国の一部を見ることができました。今、中国は急速な工業化と石炭暖房の利用による大気汚染が深刻な問題になっています。現に私が帰国する際には、大気汚染による視界不良のため、飛行機の離陸が定刻の2時間後となりました。そこで私は再生可能なクリーンエネルギーの有効利用に繋がる研究内容の重要性とやりがいを感じて実感しました。

おわりに

このような貴重な体験に経済面で援助していただいた明専会、論文執筆および発表内容などを御指導していただいた梅景俊彦教授、金元敏明特任教授に厚く御礼申し上げます。